

「地域とともにある学校づくり」を通して 地域づくり・まちづくりに貢献

～共に子どもを育て、共に地域を創る～

八戸市では、平成20年度より「地域密着型教育推進事業」を開始し、子どもたちのために学校・家庭・地域社会が連携・協働する仕組みづくりを進めてきました。現在では、全ての市立小・中学校において、地域住民そして保護者の皆様から温かな御支援・御協力のもと、地域密着型教育に取り組んでいます。

令和6年度より、これまで以上に学校・家庭・地域社会が連携を深めていくために、地域密着型教育の実績を踏まえて「コミュニティ・スクール」を導入し、「地域とともにある学校づくり」を推進しています。これにより、地域づくりやまちづくりにも貢献しています。

コミュニティ・スクール導入により 地域密着型教育が目指すもの

学校・家庭・地域社会が連携・協働し、

(1)子どもにとって、よりよい教育環境と
支援体制の構築

(2)子どもも大人も、ふるさとに誇りと愛着をもつ

(3)地域づくり・まちづくりへの貢献



これまで地域密着型教育
が目指してきたことは、**今後
も変わりません。**

地域学校連携協議会は、これまでと同
様に、**学校を応援し、地域の実情を踏ま
えた特色ある学校づくりを進めていく役割**
を担います。

「地域学校連携協議会(学校運営協議会)」での議論を通して、
学校、保護者、地域住民が「一緒に考える、一緒に取り組む」関
係を目指します。 ➡くわしくは、次ページをご覧ください。

Q 地域学校連携協議会（学校運営協議会）とは？

A 地域学校連携協議会（学校運営協議会）は、制度上、学校運営協議会になり、次の3つの機能があります。



「熟議」で学校課題や見えてきた育てたいこども姿を話し合います

① 学校運営の基本方針の承認

これまでも地域学校連携協議会で校長が説明してきましたが、今後、協議会で承認の手続きを行います。

② 教職員配置の要望が可能

学校や地域の課題解決に向けた教職員配置について、協議会から学校を通じて教育委員会に要望することが可能になります。

③ 学校運営へ意見することが可能

学校の課題解決に向け、保護者、地域住民と一緒に考え、一緒に取り組むために意見を述べる事が可能になります。

A 協議会の委員は、地方公務員の特別職の身分となります。

◇報酬（年額3,000円）があります。

◇公務災害の補償対象になります。

◇守秘義務がありますので、協議会で知り得た内容を外部に漏らすことはできません。

コミュニティ・スクール（地域密着型教育） Q & A

Q 「コミュニティ・スクール（地域密着型教育）」って何ですか？

A 地域密着型教育は、学校・家庭・地域社会が連携・協働して、地域の子どもたちを共に育てる取組で、八戸市では全国に先駆けて平成20年度にスタートしました。

各学校や各中学校区では「地域学校連携協議会」を設置し、保護者や地域の代表の皆さんから学校運営や教育活動についてのご意見等をいただいています。そして、皆さんからの声を生かしながら、学校や地域では、子どもたちのよりよい成長のために、家庭・地域社会の教育力（地域の人材・環境等）を生かした特色ある教育活動等（地域学校協働活動）を展開しています。

令和6年度からコミュニティ・スクールを導入し、学校・家庭・地域社会の連携をより一層図り「地域とともにある学校づくり」を推進しています。これにより、地域づくりやまちづくりにも貢献しています。

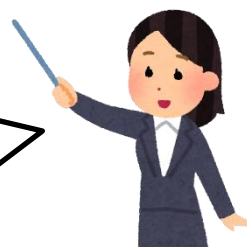
Q 「地域学校連携協議会」って何ですか？

A 地域学校連携協議会は、保護者や地域の代表の皆さんと学校の代表者が集まり、子どもたちのよりよい成長や地域づくりのために話し合う場です。

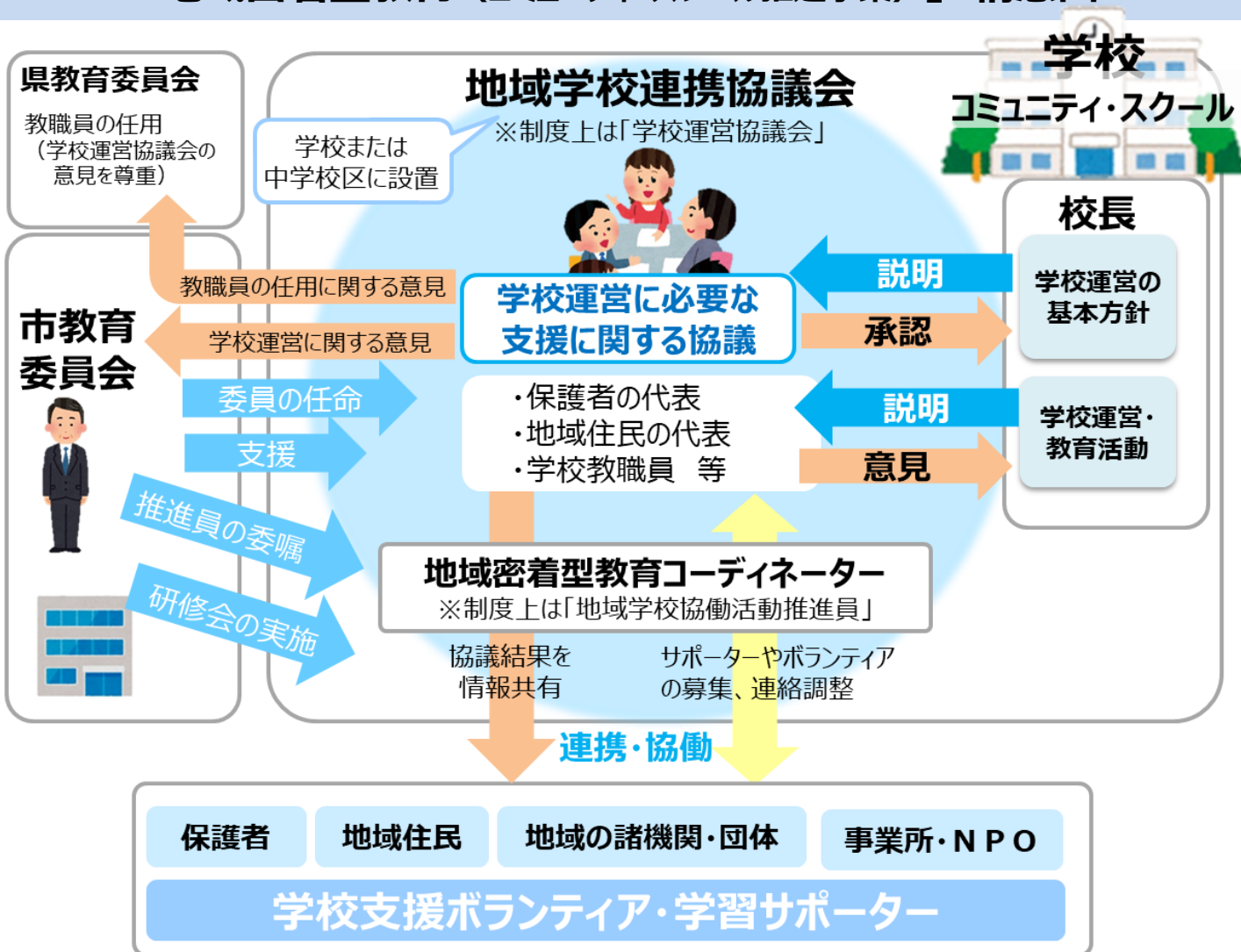
協議会では、学校運営方針や教育活動、学校評価について話し合ったり、子どもたちの様子等について情報交換を行ったりします。

コミュニティ・スクール導入により、令和6年度から「共に子どもを育て、共に地域を創る」という共通認識をもって、委員の皆さんにも「学校の応援団」として学校運営により一層関わっていただいています。

学校や地域の課題が見られたとき、その課題解決を学校だけに委ねるのではなく、委員の皆さんも「各自ができること」を一緒に考え、一緒に取り組んでいただきたいと思います。



「地域密着型教育（コミュニティ・スクール推進事業）」 構想図



Q 「コミュニティ・スクール（地域密着型教育）」では、どんな活動をしているのですか？

A 学校や地域の実情や特色に応じて、学校・家庭・地域が連携・協働した取組（地域学校協働活動）が行われています。これらの取組を進めるために、各学校には地域密着型コーディネーター（地域学校協働活動推進員）が配置されています。

地域密着型教育コーディネーターは、学校の推薦により選任し教育委員会が委嘱した方々で、地域学校連携協議会の事務や、学校支援ボランティアの募集・調整、地域の諸団体との連絡・調整等を行います。

八戸市では地域・家庭と連携した「安全・安心」な学校づくり・地域づくりを進めています。

また、地域の祭りや伝統芸能に参加したり、地域の課題を見つけて解決方法を考えて実践したりするなど、子どもたちが主体的に地域に関わる活動も行われています。



八戸市では、「本の読み聞かせ」や「図書室の環境整備」等、本に関する活動が多いことも特徴です。



卒業生（OB・OG）、大学生が来校して、自身の職業や仕事内容、自分の夢の話をしてくれることもあります。

子どもたちにとって先輩の話を直接聞くことは、とても貴重な経験になります。



Q 「地域学校協働活動」はどのような活動
がありますか？

A 主な活動内容は以下の表の通りですが、地域学校連携協議会での話し合いや、学校のニーズによって具体的な内容を学校が検討します。学校を支援ボランティアは、地域密着型教育コーディネーターが保護者や地域の方に対して、募集・調整等を行います。令和5年度には、のべ4万人の方に御協力いただきました。

①学習支援活動	日常の学習活動の補助、体験学習の補助、放課後学習の補助、給食時間の準備補助、掃除時間の補助、三社大祭やえんぶり、地域等の祭りや郷土芸能（八幡馬や八戸小唄や地域の踊り等）の指導、学習園・栽培の指導、スケート教室・給食の補助など
②環境整備活動	花壇・校庭整備、草取り、窓ふき、剪定、プール清掃、ワックスがけなど
③安全・安心活動	登下校時の見守り、プールの監視、災害時等への対応、除雪作業など
④図書活動	図書室の環境整備、読み聞かせ活動など
⑤行事等補助	バザー・運動会・体育祭・学習発表会・文化祭補助など
⑥地域交流・貢献活動	児童集会・生徒総会への地域住民・保護者の参加、合同避難訓練、避難所設営訓練、祭りや伝統芸能への参加、地域行事での発表、公民館・子ども会行事との連携、幼保ここの交流、地域美化活動など
⑦キャリア教育	職場体験学習、企業の出前授業、OB・OGによるキャリア講演会など
⑧その他の活動	部活動・愛好会見守り、広報活動、PTA活動支援、放課後子ども教室、休日の体験活動など



皆さんの経験やお力を
子どもたちのために生
かしてみませんか？

安全・安心で魅力ある学校づくり

地域づくり

まちづくり

学校や地域の課題を発見・解決する力
ふるさとへの誇りと愛着
地域の一員としての自覚

コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、
共に子どもを育て、共に地域を創る

学校支援ボラン
ティアへぜひ御
協力ください